

Uniplex社製の化粧品素材

池田物産

セミナー開催

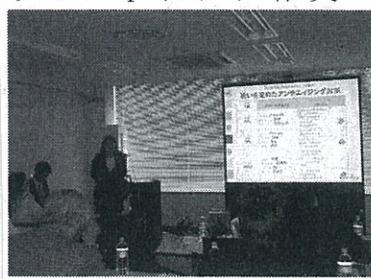
池田物産は2月8日、同社が代理店を務めるUniplex社製の化粧品素材に関するセミナーを開き、第1部では「生体時間生物学からみたアレンチエイジング素材」、第2部では「多様な皮膚炎症に着目した抗炎症素材」「Uniplex社からみた世界の市場動向」をテーマにプレゼンテーションを行った。

第一部では、サーカディアンリズムが皮膚の生理性機能に及ぼす影響についてレクチャーした後、

第二部では、「Uniplex社からみた世界の市場動向」をテーマにプレゼンテーションを行った。

Uniplex社製の化粧品素材に関するセミナーは、成長因子由来の生体時間生物学からみたアレンチエイジング化粧品処方への適応方法例を紹介し、30代向け日中ケア用素材としては、天然の抗酸化剤「Canada Willowherb」(カナディアンウイローハーブ)、皮膚の弾力・ハーブ「皮膚の弹力」「Neutrazen」(ニュートラゼン)が披露された。

Uniplex社製の化粧品素材に関するセミナーは、成長因子由来の生体時間生物学からみたアレンチエイジング化粧品処方への適応方法例を紹介し、30代向け日中ケア用素材としては、天然の抗酸化剤「Canada Willowherb」(カナディアンウイローハーブ)、皮膚の弾力・ハーブ「皮膚の弹力」「Neutrazen」(ニュートラゼン)が披露された。



「134」「MDI Co. mplex」などの素材が紹介された。40代ナイトケア用の素材としては、抗老化作用によって適応した年代別のアンチエイジング化粧品処方への適応方法例を紹介した。30代向け日中ケア用素材としては、天然の抗酸化剤「Canada Willowherb」(カナディアンウイローハーブ)、皮膚の弾力・ハーブ「皮膚の弹力」「Neutrazen」(ニュートラゼン)が披露された。

セミナーは、成長因子由来の生体時間生物学からみたアレンチエイジング化粧品処方への適応方法例を紹介し、30代向け日中ケア用素材としては、天然の抗酸化剤「Canada Willowherb」(カナディアンウイローハーブ)、皮膚の弾力・ハーブ「皮膚の弹力」「Neutrazen」(ニュートラゼン)が披露された。

セミナーは、成長因子由来の生体時間生物学からみたアレンチエイジング化粧品処方への適応方法例を紹介し、30代向け日中ケア用素材としては、天然の抗酸化剤「Canada Willowherb」(カナディアンウイローハーブ)、皮膚の弾力・ハーブ「皮膚の弹力」「Neutrazen」(ニュートラゼン)が披露された。

現在のトレンドは、合成原料でも高機能で安全性

開発、医科学分野で利用されている原材料の化粧品素材への応用が加速し

され

た。その後、Uniplex社アジア太平洋&南アメリカ地域セールスディレクターのクリ

スティン・ディジー氏が、「Uniplex社からみた世界の市場動向」と題して講演した。

クリスティン氏は、同社の最新動向も踏まえつつ、「今後、精神的な側面から肌に働きかける素材の提案が受け入れられる。一方、各種認証・認定取得のオーガニック系原材料が求められている

現状へと変化していくべき論を展開。最先端のテクノロジーを示された。